

# 小児接種を実施中です



効果や副反応の両方を理解して接種をご検討ください。

## ～小児接種に関するQ&A～

**Q** **なぜ小児(5～11歳)の接種が必要なのですか？**

**A** 小児においても中等症や重症例が確認されており、特に、基礎疾患を有する等、重症化するリスクが高い小児には接種の機会を提供することが望ましいとされています。

ワクチンを受けると、体の中で新型コロナと戦う仕組み(免疫)ができ、新型コロナの症状が出にくくなります。5～11歳における2回接種後7日以降の発症予防効果は90.7%と報告されています。 ※オミクロン株が出現する前のデータです。

**Q** **小児(5～11歳)の接種にはどのような副反応がありますか？**

**A** 12歳以上の方と同様、接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等、様々な症状が確認されていますが、ほとんどが軽度または中程度であり、12～15歳と比較してその発現割合が低かったとも報告されています。

(出典：厚生労働省HP)

効果や副反応、基礎疾患などの詳しい情報はこちら



医学的なご相談はこちら  
(またはかかりつけ医にお電話を)

**☎ 0776(20)2210**  
新型コロナワクチン接種相談センター  
(24時間、土日祝日も対応)

ワクチン接種当日は、  
接種券、予診票、本人確認書類  
(マイナンバーカード、健康保険  
証など)のほか、**母子健康手帳も**  
ご持参ください。

ご予約は  
こちら



**!** ワクチン接種は強制ではありません。

接種を受けられるかどうかは、効果と副反応のリスクの両方を理解のうえ、  
お子様とご相談いただき、保護者の方の意思に基づいてご判断ください。  
(基礎疾患をお持ちの方はかかりつけ医ともよくご相談をお願いします。)

周りの方に接種を強制したり、接種を受けていない方に差別的な対応をすることがないようにお願いします。

